

- 実施主体 長野良市（阿蘇トラベルデスク etc）
- 実施場所 押戸石周辺、瀬の本周辺
- 実施期間 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月



#### ◇背景・ねらい

世界ジオパークと世界農業遺産の二つの世界の冠をいただいたので、世界へ情報発信をする絶好の機会だと考える。具体的な旅程を組み、その中に阿蘇の草原に関わる人やものや事柄を入れ込み、さらなる阿蘇の理解を深める交流の場を作り上げていく。

屋外撮影会を実施するにあたっては、写真撮影者に対して撮影の際のマナーなど、地域における草原利用のルールを指導を行う。また、地域の関係者、組織からそのアドバイスを受けた上で活動する。

#### ◆実施概要

- ・熊日写真教室の生徒役 70 名に阿蘇の草原を撮影してもらうために、南小国の押戸石周辺、瀬の本高原周辺で屋外撮影会を実施した。
- ・熊本市内から大型バス 2 台で約 70 名を、押戸石では牧野組合の協力を得てボックスカーで現地まで往復搬送した。
- ・瀬の本高原では組合員の許可を得て、草原内に入り、阿蘇五岳などを撮影した。
- ・地域のレストランの協力を得て食事会を実施。

#### ◆実施体制

- ・熊日生涯学習プラザ、熊日写真教室、押戸石、牧野組合、八菜家

#### ◆成 果

- ・阿蘇の草原は地域の牧野組合等の管理によって維持されていること、許可を得て草原に入ること等について学習することができた。

#### ◆実施者の感想

- ・熊日が主催する写真教室の会員だけでも、阿蘇の草原がどのように管理されているかを体験させたいと思った。その効果はあったと思う。

#### 熊本地震による被災、復興の記録を残す

平成 28 年 4 月の熊本地震発生以降、写真家・長野良市氏は、阿蘇の現状を伝える記録として、報道としての写真を撮り続けています。

写真は「阿蘇復興支援写真集—ゼロの阿蘇」と題して出版されており、売上の一部（1冊 500 円のうち 200 円）が復興支援に充てられます。

